

平成19年度

施設名（愛称名）

下田市立北湯ヶ野公民館

番号

35

平成 19 年度

施設評価調書

施設の名称……北湯ヶ野 公 民 館

**所管担当課……下田市教育委員会
生涯学習課**

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名（愛称名）	下田市立北湯ヶ野公民館	番号	35
--------	----------	-------------	----	----

施設概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立北湯ヶ野公民館		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係					
3 所在地	下田市北湯ヶ野 332 番地		4 設置年月	昭和 35 年 2 月 16 日					
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ 人財づくり		自ら学ぶ歴史のまちづくり		生涯教育				
	施 策 体 系		学習環境の整備		学習施設の整備・充実				
	主 要 事 業		公民館活動推進事業		地域に密着した学習プログラムの実施				
6 設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例								
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 224.3 m ² 建物面積 96.39 m ² 構造 木造平家建							
		集会室・談話室（和室）1・談話室（和室）2・調理室・便所							
		実施事業の概要 ・公民館講座の実施 ・その他「社会教育法第 22 条（公民館の事業）」に基づくもの							
	料金体系	料金区分	公民館使用料						
		主な料金	午 前(9:00～12:00)		昼 間(13:00～17:00)		夜 間(18:00～21:00)		
			使用単位	普 通	入場料	普 通	入場料	普 通	入場料
			使用料	徴 収	使用料	徴 収	使用料	徴 収	
		1 回	1,000 円	2,000 円	1,000 円	2,000 円	2,000 円	4,000 円	
	減免内容	(使用料の免除) 第10条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用する時、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用する時。(全額) (2) 公共の団体の主催で法第 20 条の目的に基づき住民のために使用する時、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用する時。(全額) (3) 公立小・中学校(市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用する時、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用する時。(5割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用する時。(3割減額) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3割減額)							
		利用料金制度		☐ 有 ☒ 無					
施設運営 方法		☒ 直接運営							
	☐ 指定管理者制度 →		指定管理者						
	☐ 一部委託 →		委託内容						
直接従事職員	下田市職員数 館長 1 名								
9 市内の 類似施設	下田市所有	他 11 公民館（社会教育法の規定による施設）							
	民間所有	地区集会所等（自治会管理の地域コミュニティ施設）							

平成19年度	施設名（愛称名）	下田市立北湯ヶ野公民館	番号	35
--------	----------	-------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳			平成 18 年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価格 1 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 24 年
	土地取得費			土地残高		
	建物取得費			建物減価償却後残高		
	財源内訳					
	国・県支出金					
	市債			市債残高	0	
	一般財源					
	寄附金等					
	物品(*万円以上)			物品減価償却後残高		
11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分		H17 年度決算 (12 公民館)	H18 年度決算 (12 公民館)	H18 年度決算 北湯ヶ野	H19 年度予算 (12 公民館)
	収入	使用料	1,377,600	1,398,902	0	1,300,000
	収 入 合 計		1,377,600	1,398,902	0	1,300,000
	支出	1 節 報酬	1,652,000	1,620,000	108,000	1,708,000
		7 節 賃金	1,903,200	1,671,400	0	1,672,000
		8 節 報償費	403,000	367,500	5,000	450,000
		9 節 旅費	80,534	24,194	1,628	55,000
		11 節 需用費	9,271,197	5,522,116	49,943	5,828,000
		消耗品費	354,895	200,000	240	198,000
		印刷製本費	27,000	0	0	72,000
		光熱水費	4,668,116	4,389,044	49,703	4,920,000
		下水道費	89,079	81,152	0	150,000
		燃料費	35,724	29,714	0	35,000
		修繕料	4,096,383	822,206	0	453,000
		12 節 役務費	1,417,258	1,074,142	54,547	1,063,000
		13 節 委託料	562,468	750,237	6,878	766,000
		14 節 使用料	197,819	197,819	44,780	206,000
		19 節 負担金	179,550	169,800	13,650	227,000
	支 出 合 計		15,667,026	11,397,208	284,426	11,975,000
	減価償却費		10,388,063	10,388,163	0	10,388,163
	市債利子		2,750,279	2,401,932	0	2,037,703
	事務に係る市職人件費		4,200,492	3,545,532	295,461	3,821,160
	下田市負担年間総経費		31,628,260	26,333,933	579,887	26,922,026
備 考	○ 人件費は、実額を算出記載（正職員・嘱託職員等の人件費総額）					
12 施設利用 状況等の推移	利用状況	利用年度	H16 年度決算	H17 年度決算	H18 年度決算	H19 年度
		利用者数	660 人	505 人	435 人	人
		参考：利用単位		1,268.37 円	1333.07 円	円
		当たり市負担額	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数			
	休館日	祝日、12/28 から 1/3 まで				
	使用時間	午前 9 時から午後 9 時まで				
13 利用者 満足度調査	実施の有無	☐ 有 ☒ 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成19年度	施設名（愛称名）	下田市立北湯ヶ野公民館	番号	35
--------	----------	-------------	----	----

業 績 評 価

1 目標達成度

目標達成度	区 分		単位	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度 予算
	利用者数	の目標値	人	1,100 人	1,100 人	1,100 人	
	//	の実績	人	660 人	505 人	435 人	
	目標達成度		%	60.00%	45.90%	39.54%	
選択した指標	☐ 成果指標						
	☒ 成果指標の代替指標						
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由						
	施設設置目的の「住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与」を計ることが困難であるため、施設利用者数を使用する。						
指標設定の考え方	区 分	指 標 名		指 標 の 考 え 方			
	成果指標						
	代替指標	施設利用者数					

（参考）

活動指標（施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標）

活動指標			区分	単位	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度
活動指標 ①	目標指標	公民館講座受講者数（実数） 定期開催事業の参加者実数	目標値	人	20 人	20 人	10 人	
			実績値	人	20 人	5 人	10 人	
			達成度	%	100%	25.00%	100%	
	目標指標の考え方	公民館講座は利用率向上を目的としたものではなく、必ずしも達成度を検証する数値になるとも限らないが、施設設置目的に沿った主催事業であるため活動指標として設定する。						
活動指標 ②	目標指標	社会教育関係団体利用者数 施設利用者数のうち社会教育関係団体の利用人数	目標値	人	300 人	300 人	300 人	
			実績値	人	50 人	27 人	0 人	
			達成度	%	16.66%	9%	0%	
	目標指標の考え方	社会教育・生涯学習行政を推進していく上で、社会教育関係団体の自主的な活動は重要視される。活動拠点は集合しやすさから市中心部に偏りがちではあるが、公民館が社会教育施設として活用されている一つの指標として設定する。						
活動指標 ③	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成19年度	施設名（愛称名）	下田市立北湯ヶ野公民館	番号	35
--------	----------	-------------	----	----

2 効率性

効率性		区分	説明	単位	H17 年度 12 公民館 平均値	H18 年度 12 公民館 平均値	H18 年度	H19 年度
		施設の 総利 用者数等①		人	4,721	4,425	435	
		年間経費②	施設の事業費・運 営費および人件費 の合計額	円	1,655,626	1,245,228	579,887	
				11 欄の「支出合計」の額を転記記載する。				
利用単位当 たり経費		②÷①	円/人	350.69	281.40	1333.07		
総利用者数等の 考え方 施設の総利用総 数等について用 いた指標につい て記載してくだ さい。		総利用者数を年間経費で割り返して、効率性を計る。		備考 コスト評価項目に 関して留意事項、補 足項目等があれば 記載してください。				
その他の指標			区分	単位	H17 年度 12 公民館 平均値	H18 年度 12 公民館 平均値	H18 年度	H19 年度
目標指数 ①	目標指数	光熱水費	目標値	円				
			実績値	円	389,009	365,753	49,703	
			達成度	%				
	目標指数の考 え方	電気、ガス、水道の料金を節約することで効率性を計る。 目標値算定： H17 の料金の 90%とする。						
目標指数 ②	目標指数	消耗品費	目標値	円				
			実績値	円	29,574	16,666	240	
			達成度	%				
	目標指数の考 え方	消耗品費を節約することで効率性を計る。 目標値算定： H17 の料金の 90%とする。						
目標指数 ③	目標指数	委託料	目標値	円				
			実績値	円	46,872	62,519	6,878	
			達成度	%				
	目標指数の考 え方	委託料を節約することで効率性を計る。 目標値算定： H17 の料金の 90%とする。						

受益者負担の適正性	区 分	説 明	単位	H17年度 12公民館	H18年度 12公民館	H18年度
	①有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	千円	19,867,518	14,942,740	579,887
	②受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	千円	1,377,600	1,398,902	0
	③受益者負担比率	②÷①	%	6.93	9.36	0
	④補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	千円	8,023,600	6,741,902	87,000
	⑤補正受益者負担比率	④÷①	%	40.38	45.11	15.00

平成19年度	施設名（愛称名）	下田市立北湯ヶ野公民館	番号	35
--------	----------	-------------	----	----

施設の現状分析

判断視点項目			施設の状況
施設方向性の判断視点	① 施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	されている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	地域住民の希望する公民館講座や、地域住民や地区PTAの会合などに活用されている。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めているか	地域住民にとってはなくてはならない施設。
	② 施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	必要に応じた修繕を実施。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	公民館運営審議会や公民館長会議を通じて情報を得ている。
	③ 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	競合していない。
		民間においても十分可能な施設なのか	公民館機能としては不可能。
	④ 使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうなのか	もともと社会教育施設であり実費経費との比較はできない。
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうなのか	地域に根ざした利用をされている施設であるため一概に比較できない。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	
		施設の耐用年数は何年有るのか	不明。
		施設の今後の維持経費の算定はどうなのか	
行政規模からの判断視点	① 施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	社会教育法に基づいて市が管理する施設。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	今後統廃合を検討。
	② 地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	検討中
	③ 施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	ない。
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	統廃合を検討。
		地域、民間に譲渡できないのか	今後の課題。
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	難しい。
その他			

平成19年度	施設名（愛称名）	下田市立北湯ヶ野公民館	番号	35
--------	----------	-------------	----	----

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	社会教育法に基づく公民館。
	受益者負担の妥当性	現在改善中であるが、コストに見合った使用料設定は難しい。
	実施主体の妥当性	会議室の貸し出しなどは他施設でも可能であるが、公民館事業は行政の役割。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	統廃合の検討。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	公民館講座や事業の充実が必要。
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	ボランティアで活動してくれる地域の指導者等を発掘し公民館活動に活かせないか検討中。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	貸し出し区分の見直しを図る。
査等 ート調 アンケ	市民アンケート調査等の結果	未実施。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	

平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	公民館講座（踊り教室、料理教室）の開催
見直し事項	ボランティア講師の発掘や講座受講者による同好会化の推進 指定管理者制度導入についての課内協議

平成19年度

施設名（愛称名） 下田市立北湯ヶ野公民館

番号 35

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	耐震診断、補強未実施	未調査	
2	畳取替		
3	掃除機等備品購入		
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	☐ 充実 ☐ 効率化等による見直し ☐ 現状のまま継続等 ☐ 縮小等による見直し ☒ 統廃合を進める	(具体的な内容)